

平成27年度

第3回岡山市保健福祉政策審議会における主要な意見

1 日 時 平成27年12月25日（金）13時30分～15時00分

2 場 所 岡山市保健福祉会館9階 機能回復訓練室

3 出席者 委員9名

4 傍聴者 報道0名、傍聴者0名

5 議 題

「介護保険制度の改正に伴う地域支援事業の見直し」について

- ・ 生活支援サービスの体制整備について
- ・ 介護予防ケアマネジメントについて
- ・ 介護予防の推進「介護予防センター事業について」

6 第3回岡山市保健福祉政策審議会での主な意見

審議会委員の主な意見

【生活支援サービスの体制整備について】

○具体的に好事例を増やしていく作業が大切。住民の方々自身が支え合いとは何なのかということが分かっていない現状なので、「地域支え合い推進会議」立ち上げのある程度の目標を示し、見える化して、普及啓発しながら進めてほしい。そうすれば、我々、民間も支援しやすい。

○高齢者の助け合いは広い範囲では難しい。小学校区単位等狭い範囲で考えてほしい。

【介護予防ケアマネジメントについて】

○基本チェックリストは 25 項目の主観的健康感の評価なので、運用はなかなか難しい。福祉事務所で受け付けるのか、地域包括支援センターの説明の後に基本チェックリストを実施するのか。岡山市と地域包括支援センターで基本チェックリストの運用、アセスメントの方法などしっかり研究し、利用者がどの種類のサービスを利用するかなどの判断基準をしっかりとつけていかないと安易なサービス利用の拡大につながる。

【介護予防センター事業について】

○介護予防センターが実施している通所型事業をしっかりと研究し分析すべき。

○保健所部門の健康づくり事業も介護予防に資する面が多いと思うので、そのあたりの分析を行い、市民へも効果があるということをフィードバックし、もっと市民に健康づくり事業に参加していただくべき。

○保健所と高齢者部門の介護予防の横のつながりをしっかりとりながら効率よく事業を実施すべき。